

白山南竜PW 振り返れば 素敵な思い出が次々と!

楽しかった南竜 PW の小屋での思い出が、次々と頭に浮かびます。南竜酒場のおしながきです。

- ・一番の楽しみは、近江町市場直送の「ドジョウの蒲焼」。大好きでした。予約でしか手に入らないらしい。
- ・強烈に視覚に残っているのはピンク色の地酒『白山フウロ』。雨でびしょ濡れになりながら花を探し、お酒に浮かべ。最高の贅沢。
- ・バタバタでゴールした南竜で迎えてくれた『赤福餅』。口の中にホイと、とたん疲れが吹き飛びました。程よい甘さがいいね。
- ・奥さまとの登山で良しということで披露された『チーズホンデュ』。スイスの山小屋に居るような気分でした。美味しかった～。
- ・山から帰ってきたとき待っていたのは『ソーメン』。東北産茗荷、ねぎの薬味を添えて。ザルは次年度の宿題でしたね。
- ・アルコールは何でもありでしたね。お茶会。自家農園のキュウリ、トマト ビタミン C もしっかりとってお肌綺麗???
- ・デザートは『スイカ』『小松産ブドウ』。愛を感じますね。
- ・朝は『コーヒーのかおり』で目覚め、二日酔いもどこへやら。爽やかにおはよう～でしたね。
- ・最初は神々しく近寄りがたかった先輩も、最後の写



真では隣に。(1頁写真参照)

忘れられないのは、PW 特別参加の笑顔の素敵な登山家谷口けいさん、8 期同期の柳川徹さん。ご冥福をお祈りいたします。

8 期 高水間淑子

My Wandervogel 登山靴をお蔵入りさせてもワングルは続けるよ

高齢ワンダラーが否応なく決断を迫られる課題は『いつ登山靴をお蔵入りさせるか』PW 最終日に、山村リーダーから『白山南竜PW は今回限りで終了』が宣言された。『白山南竜に集まろう』という統一行動は、年齢からいって、今後は難しい。これからは各人各様の自分流のワングル活動に進むことになる。

幸いにワングル活動は『登山靴をお蔵入り』させたとしても、その活動は終わるわけではない。自分流のワングル活動『My Wandervogel』が始まるのだ。

今回の PW 参加者が語る『My Wandervogel』を各ページに掲載した。

ますますお元気に活躍のワンダラー

アメリカ旅行のため出遅れてしまった村田です。

旅行前の慌たしさで何のリポートも出来ませんでした。駆け込みでメールを送らせていただきます。

8 月 2 日解散後、伊藤、保田、山中、村田の 4 名は先ずホワイトロードに入り、「ふくべの大滝」、「白山展望台」でいつも眺める白山を裏側から眺め U ターン、一路金沢に向かいました。

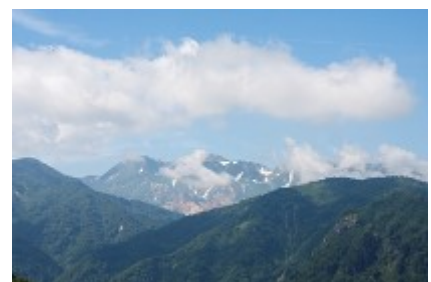
道の駅「瀬名」に立ち寄った後、手取峡谷の「綿ヶ滝」へ。駐車場から 120 段の階段を恐々降りるとそこは別天地、綿を切ったような流れの「綿ヶ滝」が優しくも轟音を響かせて手取川の岸壁を流れ落ち、一陣の風とともに頬を撫でる水しぶきの心地よさ、溪谷美を堪能した後の登りの過酷なこと、せっかく引いた汗がまた噴出す始末。鶴来の「そば処さかい」で白山そばを賞味し、伊藤、保田両名と別れた村田は山中氏を金沢駅まで無事送り届け帰宅。

前日の茶会も滞りなく終了。全国茶人の垂涎の菓子処「吉はし」の幻の上生菓子「苔みどり」と米沢緑翠園の「幸の白」で一服、暑さを吹き飛ばして頂きました。されど殆どの人にこの菓子の貴重性には気づいて頂けなかったようです。

5 日後には暑い日本を脱出してアメリカはワシントン州のアナコースト、シアトルで涼しい 1 週間を満喫して私のこの暑い夏は終わりそうです。

あ、もう一つ、11 月 1 日～8 日、「東京都美術館」で「第 92 回国展受賞作家展」に出品していますので、近郊の方は散歩がてら上野の森へ足をお運び頂ければ幸いです。

7 期 村田泰恵



この殿方は昼の蝶にも好かれてるよ。もうちょっと若い頃は、夜の蝶に追っかけられたのだろうな。
(8 月 2 日砂防新道にて)

白山南竜 PW をお手伝いして

9期 伊藤 俊成

7年連続7回目の白山南竜PWの参加、どの回も鮮明な記憶を残し、終わりを告げた。

思えば、退職辞令をもらったその足で神田神保町「石井スポーツ」に赴き、登山靴とザックを購入するきっかけを作ってくれたのは、この白山南竜 PW 計画の存在であった。

あれから足掛け7年、PW 最後の今年、砂防新道の途中で登山靴のビブラム底が剥離してきたことは、店員が言った登山靴の寿命とくしくも一致することとなった。これも神の定めし運命なのだろうか？

私個人にとって私をここまで頑張らせた要因は、山村先輩のお手伝い役を、9期千葉組の代表に担ぎ上げられたことに尽きると思っている。この役目がなければ、トレーニングを怠り、私の山登りも挫折していたかもしれないと考えると、感謝の念が湧いてくる。

いつまでたっても超すことのできない先輩達、時折り顔を見せる後輩達、そして口さがない先輩から『何もしない9期』と言われつつ取敢て甘んじてきた同期の面々、ご協力いただきありがとうございました。ただただ感謝の気持ちで一杯です。

迎えてくれた白山の花々(名前はほとんど忘れませんが・・・)、アサギマダラ、オコジョ、そして満天の星空に豪雨、ソーメンにキュウリ、白峰民宿のおばさん、まだまだいっぱいあります。

大切な思い出をありがとうございました。

以上

KUWVOB 南竜集中 PW 第十回で終了！

2018.08.19 山村 嘉一

今を去ること10年前の2008年9月14日、金沢大学ワンダーフォーゲル部創立五十周年記念総会懇親会の二次会で話が盛り上って実現した『白山の南竜に集まろうや』というこのパーワンも、十回目を迎え、これにて終了とすることとなりました。五回目の時にそれまでお世話してきた山村が『五回も続けてきたのでこれで止めたい』と言ったところ、『何とかして十回まで続けてその十回目を山村が締めるという条件で、それまでは9期千葉組がお世話をする』ということになり、9期千葉組を代表して伊藤俊成さんのお世話のお陰で途切れることなく、幾多の思い出を残しながら最後の十回まで続けることができました。全十回皆出席の方はもちろん、一回でも参加された方、すべての皆様のご協力に心より感謝申し上げます。お陰様でKUWVOB としてのワンダーフォーゲルらしい活動が続けられてとてもうれしい気持ちです。

ただ、個人的には最後の回の南竜ケビンに参加できなかったことが誠に残念至極です。それも日頃の自分の健康管理、体力管理のまずさと努力不足によるものかと思うとみじめな気持ちになってしまいます。

そもそも虚弱児童で小学校入学を2回やっつの学校生活のスタートから、どうにか人並みの健康体となり、ワンダーフォーゲルに巡り合っ自分としては思った以上の活動ができたと思ひ、運動神経は鈍いけど、歩いたり登ったりするだけなら一生続けることができると思ひ込んでいました。歳を意識しながら、昨年9月中旬には燕岳、同じく月末には、迎えた75歳の元気を確かめるために白山御前峰に、へろへろになりながらも登ることができました。ところが、今年の正月に発症した変形性腰椎症、脊柱管狭窄症による坐骨神経痛が完治せず、5月25日の上高地、7月26日の立山室堂の散策は何か歩けたものの、南竜まではとても行けない状態となってしまいました。(お聞き苦しい愚痴話になって申し訳ないです。)

今後は少しでも良くなるように頑張るつもりです。山麓の温泉に浸かり、昔を思い出して悔しい思いを巡らせだけでなく、せめて高原歩きができるようにしたいと思っています。

KUWVOB の皆様！今の健康も体力もアツという間に失うリスクが日常生活の中にあるかもしれません。どうか山村の轍を踏むことの無きよう、くれぐれもご留意されますように！！

以上

幹事役あってこそそのパーワンです。10年間にわたり、お世話いただき、心から感謝申し上げます

参加者一同

編集後記：写真、文書投稿、My Wandervogel の表明など皆様のご協力、ありがとうございます。その立派な資料を上手に活用できずご容赦を。(記録担当 鍋島武 nabeshima2828@nifty.com)



伊藤共同幹事長 合津名誉幹事長 山村共同幹事長